

サポ

1 地域子育て支援センター

「親子の成長を応援します！」

子育てするお母さんをはじめ、その家族の皆さんを支援して、子育て中の悩みや分からないことを解決することで、親子で一緒に成



▲1月15日、あいあい広場で親子遊びをする支援センター職員

長していくことを目的に、平成11年4月に南保育園に併設しました。平成15年4月からは、ふれあいプラザにも設置され、2カ所に事務所があります。

ふれあいプラザには、市内はもろろん、近隣の市や町からも就学前の子どもとお母さんたちが集まっています。施設内には、プレイルームを常設していますので、親子で遊んだり、お母さんたちが集まっておしゃべりしたりと、親子で自由に遊ぶことができます。

また、子育て相談や勉強会、親子の遊び場やサークル活動などのほか、あいあい広場など保育施設のない地域での子育て事業を行っています。

■親子の遊び場 「あいあい広場」

地域子育て支援センターの事業の1つで、親子を対象に行う遊びが中心となります。地域子育て支援センター開所以来の事業で、市内の保育園がない地域である斎川地区と大平地区の2つの公民館を会場に、おおむね月1回の開催となっています。

参加された多くの方には、手作りのおもちゃや親子遊びなどが好評です。保育士による遊びのメニューづくりも、子どもの成長に合わせてお母さんたちに分かりやすい組み立てにすることで、母子のきずなを強めるきっかけづくりを行っています。また、毎年、



▲保育士と一緒に親子で楽しく手遊び

兄弟姉妹の参加も多く見られるので、親子遊びなどでは託児員が遊びのパートナーとして大活躍しています。

4月から12月までのあいあい広場では、1回当たり親子合わせて大平公民館で45人前後、斎川公民館では12人前後の参加がありました。どちらの地域でも、主任児童委員のお手伝いをいただき、子どもの安全配慮や託児、母親の話し相手に活躍いただいています。



▲酒井久美子さんと健太郎君

また、2年前からあいあい広場に通っている菜々子ちゃん(3つ)と妹の香菜子ちゃん(1つ)のお母さん桜井真由美さん(大平坂倉)は、「集団の中で遊ぶ機会を提供いただけてとてもありがたいです。このほか、ほつぶんちよにも参加して、親子で楽しくエアロビクスやリズム体操で体を動かして

います」と笑顔で語ってくれました。



▲桜井真由美さんと菜々子ちゃん、香菜子ちゃん

参加している親子はみんな楽しそうに、親子遊びやお母さん同士のおしゃべりに夢中になっていました。その笑顔は、まさに白石の宝物です。

●子育て支援センター

保科つや子館長



親子で子育て支援センターをご利用いただき、自分に合った過ごし方で自由にご利用いただければと思います。お母さんと子どもがべったりできるのは、本当に短い時間です。この短い時間を大切にしてほしいと思います。子育てはつらいことも多いと思いますが、そんなときは、遠慮なくご相談ください。私たちと一緒に子育てしていきましょう！

2 ファミリーサポートセンター

「忙しいお父さん、お母さんを応援します！」

子育ての相互援助活動を行う会員制の組織です。子どもを預けた「依頼会員」、子どもの預かりと送迎ができる「提供会員」、そして依頼と提供の両方を兼ねる「両方会員」の3つの会員で組織しています。1月末現在で約500人の会員の皆さんが登録し年間1,000件を超える活動を行っています。

利用料金は1時間当たり500円、依頼会員の皆さんが仕事と子育てを両立できるようにお子さんをお預かりするほか、通院や冠婚葬祭などの出席のときにも依頼することが出来ます。

事務所があるふれあいプラザでは、アドバイザー2人が活動の調整や会員の募集のほか、講演会や交流会を開催して、円滑な活動を行っています。

1月18日、ふれあいプラザを訪ねました。アドバイザーとの打ち合わせに来館した依頼会員の佐藤育子さん(延命寺北)は、「私は岩手県出身で、白石に嫁いできました。ファミリーサポートセンターは、大きな都市でなければ設置されていないと聞いていたのでとてもラッキーでした。提供会員の皆さんが本当に良い人ばかり



▲依頼会員の佐藤育子さん

で、料金以上のサービスをしていただいています。私は2時間ほどの依頼が多いのですが、提供会員さんとは、ファミリーサポートセンターの会員同士だけでなく、友達付き合いが始まり日常生活が楽しくなります」と笑顔で話してくれました。

Interview

1月15日、大平公民館で開催されたあいあい広場を訪ねました。この日は、17組39人のお母さんと子どもたちが参加して、コマ作りや親子遊びをして約1時間30分、みんなで楽しみました。ボランティアで参加いただいている、大平地区の主任児童委員の北沢さんと、託児員の糠沢さんに話を聞きました。

●北沢恵美さん(上久保)



あいあい広場に参加して1年半ぐらいになります。私は子どもがいないので、毎回楽しく過ごさせていただいています。参加いただいたお子さんには、絶対けがのないように心掛けています。

あいあい広場に参加したお子さんにお店などで会うと手を振ってくれて、とてもうれしく思っています。就学前までの子育て環境はとても充実していると思いますが、就学後の子どもの支援として放課後子ども教室のような取り組みをもっと考えて欲しいと思っています。

●糠沢郁美さん(郡山)



子育て支援センターで、託児員としてさまざまな事業での託児なども行っています。そのたびに、子どもたちからは元気をいっぱいもらっています。

託児員の前には、平成16年の新潟県中越地震の際、ボランティアで避難している子どもたちの遊び相手をしたことがあります。そのとき、こういうことを仕事にしたいと思い、新潟から帰ってきてからベビーシッターの資格も取りました。